

◆ 地域包括支援センター課題対応取組み報告の要旨

※ 「頁」は、公表案資料「課題対応取組み報告書」掲載頁です

取 組 み 要 旨	センター名	頁	健康福祉局からのコメント(要旨)
利用者にわかりやすい居宅介護支援事業所情報や地域別の高齢化状況等の媒体作成と活用	中央区	12	【独自性】日常業務を振り返り、身近な課題への具体的取組みを評価
関係機関協働による、認知症支援のための情報の整理と発信		13	昨年度の取組み成果の上に立って、更に継続発展させた取組みを期待する
センター周知に向けたイベント開催 高齢者支援情報の集約・発信	西区	14	センター周知の取組みは評価するが、成果分析して次の活動に活かすこと
区アクションプラン高齢者部会の取組みの中でセンターが中心となって役割を担い、町会単位の独居・高齢者世帯の見守り体制構築に向けた取組み	西淀川区	15	【浸透性】50%の見守り訪問実績を具体的に示すこと
センター周知に向けて毎月センターだより発行		16	相談件数増加の根拠を具体的に示すこと
区内全ブランチとの協働による認知症支援啓発リーフレットの作成・配布	東淀川区	17	取組み成果を具体的に示すこと
日々の活動からニーズを把握して「介護者家族の会」を立上げ、運営支援と共に社会資源として活用	生野区	18	【浸透性・専門性】事例を通して具体的な成果が報告されている
ブランチと共に H20 年度中に地域ケア会議で取り上げた事例を分析し、区レベルの実務者会議で報告、複合課題を持つ事例に焦点を当てて各分野(高齢・児童・障がい)の連携対応を検討	阿倍野区	19	【専門性】支援困難性の高い複合課題を持つ事例に焦点を当て、区内状況を整理して関係者と情報共有したことは意義深い
一ネットワーク推進員の声から、認知症高齢者支援に向けたネットワーク委員の役割理解促進を意図して認知症サポーター養成講座の内容を工夫して活用		20	連携が弱い原因分析と活動目標・内容設定を関連づけると取組み意図がわかりやすくなる
「認知症・見守りサポーター養成講座」を地域住民組織の理解を得て開催	住吉区	21	【浸透性】地域の相談状況を踏まえ見守りサポーターを募る取組みは地域力を活かす活動と評価できるが、取組み開始間もないため、今後に期待する
幅広い対象者に向けて認知症理解を深める効果的なテキスト・副読本の作成と活用	東住吉区	22	【浸透性・専門性・独自性】センターが扱う様々な事例から実態を分析して取組み開始しており、活動を浸透させる説得力がある
イベントを通じて、高齢者を支援する各種団体を募り、区民に周知		23	【浸透性】イベント後に参加団体がどのような協働の取組み・支援ネットワークに発展していけるか期待する
家族介護支援教室を活用し、認知症高齢者支援の視点で地域関係者と協働の場設定を企画	平野区	24	成果が見える段階での報告が望ましい
ブランチと共同で、各地域ネットワーク委員会をターゲットに認知症理解促進と早期段階で相談してもらえる関係づくり	西成区	25	【浸透性】住民の地域学習会を通じて浮き彫りにされた地域課題を取組みの出発点とし、ネットワーク委員会の学習会自主開催の動きなど浸透性について評価できる
2 年間の地域ケア会議の集約から、金銭管理支援を要する高齢者が多いという地域特性を踏まえ、区内居宅介護支援事業所の協力を得て実態把握と課題整理		26	【地域性】金銭管理支援を要する高齢者が多いという根拠を持った現状認識を踏まえ、さらに実態把握をして課題整理に取組む内容は評価できる

◆ 総合相談窓口(ランチ)課題対応取組み報告の要旨

取 組 み 要 旨	地域名	頁	地域包括支援センターからの コメント(要旨)
独居高齢者等が孤立しないよう、地域の活動を通じて地域ネットワーク委員やボランティアと顔見知りになり、ランチ機能を広報	北区 大淀	27	【継続性】特養という母体施設を地域に開放していけるよう取組んでいる。 食事会等の場面を利用して、啓発活動を行い、相談しやすい体制づくりに取組んでいる
区社協と共催で家族介護教室を実施、理学療法士の専門性を活かして福祉用具使用法を理解してもらえた			
「高齢者福祉施設見学と福祉の制度を学ぶつどい」を開催し、地域関係者と交流が図れた	北区 新豊崎	28	地域との関係づくりに積極的に取組んでいる
中央区の認知症ケアシステムの構築を目的にした取り組みに協働参画し、支援のあり方を検討	中央区 南大江	29	【地域性・継続性】認知症相談窓口としてネットワークを駆使した活動を期待
ふれあい喫茶等に積極的に参加し、ランチ機能を啓発。法人施設内で家族介護教室を実施	港区 市岡東	30	【地域性・浸透性】地域への働きかけに精力的に取り組んでいる
ふれあい食事会に参加し、ひとり暮らし高齢者等の実態把握に努める	港区 港南	31	【継続性】地域に出かけることは地域との関係を密にし、実態把握に繋がる
ネットワーク委員会や食事会に定期訪問し、啓発活動等実施 単身高齢者への訪問・見守り活動を実施 毎月介護予防を目的とした教室実施	淀川区 十三	32	【地域性・継続性・浸透性】地域行事に頻回に出席し、地域役員・住民に身近な存在となっている
徘徊対応への理解を深めてもらうためのリーフレットを包括と全ランチ共同で作成・配付	東淀川区 全ランチ	33	【地域性・浸透性・独自性】各地域でのネットワーク構築を志向し、多様な関係機関を対象としている
定期的な一人暮らし高齢者見守り訪問・電話訪問の実施 カラオケ大会開催	東淀川区 中島	34	【地域性・継続性・浸透性・独自性】相談できる環境づくりと、見守りにつながる手段となるカラオケ大会を実施している
地域の生涯学習推進委員会、ネットワーク推進委員会、女性会等と連携し、介護や認知症等の勉強会を開催 定期的にクラブ活動を実施し、参加者相互の仲間作り	東成区 玉津	35	【地域性・継続性・専門性・独自性】地域住民の既存組織とタイアップして関心の薄い層にもアプローチができ、高齢者の問題を地域で考える機会となっている
一つの事例対応を通じた支援体制づくりへの取組み (単身・引きこもり高齢者の緊急時に備えた体制)	生野区 生野東	36	【地域性・継続性・浸透性】地域とともに支援を継続していくことで見守り体制の強化が伺える。
担当地域内で、啓発活動の進んでいない地域に焦点をあて、区社協や包括の協力も得て地域関係者との関係づくりに取組む。地域ケア会議を開催する。	生野区 田島	37	【地域性・継続性・浸透性】地域ケア会議を通して支援の輪を広げ、地域との連携体制を築き、今後の活動が期待できる
日々の相談内容から、認知症支援に焦点をあて、民生委員を対象に認知症の勉強会を開催するとともに、個別相談に応じて、民生委員と同行訪問し、地域住民とともに見守りを行う	生野区 新生野	38	【地域性・継続性・浸透性】地域とともに、より積極的な活動展開へと広がっている
月に1回スーパーマーケットで「介護何でも相談」を開催する	旭区 旭陽	39	【地域性・継続性】地域に出かけ、ランチの良いPRになっている
ひとり暮らし高齢者の見守り(2週間に1回～毎日)により生活が安定した事例や地域関係者と徘徊に備えて認知症高齢者の情報共有と援助体制を整える	旭区 旭東	40	【地域性・継続性】地域と連携を取りながら活動を行っていくことは、今後地域の見守り体制への一助となっていく

日々の相談内容から介護予防の必要性を感じ、年3～4回交通機関を利用した外出機会をつくる(取組み6年目)	城東区 城東	41	【地域性・継続性・浸透性・独自性】少数の声から開始した活動が地域に根付き、会を離れた交流も芽生え、意義深い活動となっている
日々の相談内容から、単身高齢者の将来の生活場所への不安が多いことを把握し、介護・福祉施設関係情報を整理し、情報提供に活用する	鶴見区 茨田	42	必要な情報を提供する身近な相談窓口として認識が広がり、今後より効果的な情報発信の工夫と活動展開を期待する
ネットワーク委員会等の会合に出席したり、高齢者世帯の見守り活動により把握した情報を提供してネットワーク委員に見守りを依頼するなどして関係構築に努める	鶴見区 今津	43	【地域性】地域ネットワーク委員会と連携をとることで、インフォーマルサービスを把握してきめ細かい支援体制につながる
独居・高齢者世帯が多い地域ということから、包括支援センターと協働でネットワーク委員連絡会総会で、認知症理解を深める寸劇を実施	阿倍野区 昭和	44	【地域性・継続性・独自性】ネットワーク委員に向けて認知症理解を深め、ランチを周知し、役割の共有認識できた意義が大きく、連携が広がる良い機会となった
相談に対応する際、地域関係機関に相談し、情報を共有化する	阿倍野区 阿倍野	45	【専門性】関係機関連携を意識的に行えたことは、今後のネットワークづくりにおいて重要である。具体の事例検討については地域ケア会議も活用をすること。
ランチ・地域包括支援センター・保健福祉センター協働で地域高齢者・女性部長・連合町会会員対象に講演会実施	阿倍野区 松虫	46	【地域性・継続性・浸透性・独自性】参加者同志の交流を深めるために試食会も合わせて実施し、互いの顔が見えるネットワークづくりを意識したことは意義深い
毎年、認知症をテーマに講演会の実施	阿倍野区 文の里	47	【地域性・継続性・独自性】ネットワーク委員との連携が他地域への刺激となり、各地域で講演会開催の起動力になった
連合町会・ネットワーク委員会と連携し、月1回介護予防教室を実施	住吉区 三稜	48	【地域性・継続性・浸透性・専門性】介護予防教室を継続的に開催し、多くの参加者が定着することにより、介護予防普及と自主的な啓発活動が広がっている
ランチも地区社協の構成員となり、地域の様々な活動の場に出席 地区社協だより発行に向け、各活動紹介のための取材を通じて、地域支援関係者・団体との関係づくりが進んだ	住吉区 住吉 住吉第二 (共同)	49 ・ 50	【地域性・継続性・専門性・独自性】大規模地域のため、各種団体の連携が停滞していることを課題とし、ランチが地域活動を活性化させる媒介として地域社協の事務局を担い、総合相談を周知し、今後の活動が期待できる
ネットワーク推進員と連携して、地域サロン定期参加や要援護高齢者等の現状確認や対応の協議を行う 家族介護教室を月1回開催、関係機関の協力も得て周知も工夫し、多くの参加者がある	住吉区 東我孫子	51	【地域性・継続性・浸透性・専門性】専門機能を活かし、家族介護教室や認知症サポーター養成等により、認知症高齢者を見守るネットワークづくりの意識が浸透してきている
日々の訪問活動の中で高齢者の消費者被害の事例を把握し、民生委員やネットワーク委員に相談したり、地域の高齢者が集まる機会に講演会開催を周知し、消費者被害防止のための啓発講演会を実施する	住吉区 長居西	52	【地域性・継続性・浸透性・専門性】幅広い参加者を募ることで、消費者被害防止に向けたネットワーク構築に期待でき、地域から情報が入る関係づくりが進められている

ふれあい喫茶・食事会等地域の行事に参加し、総合相談窓口を周知	東住吉区 東住吉	53	【地域性・継続性・浸透性】地道な働きかけでランチへの理解が浸透しつつある
2事例について対応経過報告 経済問題に苦しむ高齢者へ法律相談・自己破産手続き支援 生活困窮者の生活維持への対応(配食サービスの提供)	東住吉区 中野	54	【地域性・継続性・専門性】専門機関等と連絡し、情報共有することで不安を取り除き、次のステップにつなげられた
ランチ活動周知の取組み 機関誌・新聞折込・ポスターの利用(地域内医療機関) 地域関係機関の訪問や敬老大会等に参加してPRする	東住吉区 白鷺	55	【地域性・継続性・独自性】法人機関誌や新聞折込広告などあらゆる機会にランチPRをし、浸透してきたことが伺える
ランチ活動周知の取組み 高齢者以外の幅広い対象者にも相談対応する 「老いも若きも」参加・交流できる行事の実施	東住吉区 矢田南	56	【地域性・継続性・浸透性・独自性】地域事情に合わせて臨機応変の対応と様々な行事企画を通じ、地域組織の理解を得て、相談利用につながっている
連合町会やネットワーク推進員と連携し、閉じこもり高齢者・ 独居高齢者への声かけをし、月1回手芸教室を開催して 交流の場としている	平野区 長吉	57	【地域性・継続性】地域交流の活動として成果をあげているが、閉じこもり対象の活動になっているかは疑問である

[まとめ]

- 今回は半年間という短い期間での報告のため、具体的な成果として表すことは難しい面があったにもかかわらず、地域包括支援センター・ランチから積極的に報告が寄せられた。
- 「日頃の活動から課題を認識して成果の見える取組みにつながった内容を報告する」という初めての試みということもあり、報告書作成に苦慮したことが伺える。
- 活動から具体的な課題を捉え、具体的な目標を立て、課題解決に向けた取組みとその成果がつながりのあるものとして報告書の記述がされると、取組みの過程と効果がよくわかり、他の地域包括支援センターやランチの取組みの参考となる。
- 積極的な課題対応取組みについて、地域包括支援センターやランチ間で共有するためにも、優れた活動の可視化に向け、報告様式の改善がさらに必要と考える。

総合相談	実人員	実人員／高齢者人口	延件数	上半期合計	延件数／高齢者人口	圏域内高齢者人口	介護予防支援プラン 一人当たり件数	新把握特定高齢者 ケアプラン作成率
北区	334	1.77%	訪問 226 電話 1,178 延 117 延 1,521	226 1,178 117 1,521	8.0%	18,895	22.2	11.2%
都島区	143	0.71%	訪問 139 電話 261 延 79 延 479	139 261 79 479	2.4%	20,020	24.5	14.9%
福島区	177	1.42%	訪問 251 電話 215 延 51 延 517	251 215 51 517	4.1%	12,473	30.3	24.2%
此花区	304	1.98%	訪問 163 電話 745 延 115 延 1,023	163 745 115 1,023	6.7%	15,380	21.2	25.2%
中央区	347	2.66%	訪問 415 電話 1,286 延 386 延 2,087	415 1,286 386 2,087	16.0%	13,047	23.8	36.8%
西区	356	3.00%	訪問 261 電話 764 延 367 延 1,392	261 764 367 1,392	11.7%	11,851	18.1	44.4%
港区	433	2.21%	訪問 215 電話 896 延 170 延 1,281	215 896 170 1,281	6.6%	19,549	22.4	18.8%
大正区	246	1.43%	訪問 482 電話 895 延 144 延 1,521	482 895 144 1,521	8.8%	17,236	23.1	14.4%
天王寺区	410	3.37%	訪問 346 電話 844 延 217 延 1,407	346 844 217 1,407	11.6%	12,156	26.7	34.6%
浪速区	280	2.66%	訪問 797 電話 789 延 178 延 1,764	797 789 178 1,764	16.8%	10,522	28.8	31.4%
西淀川区	300	1.51%	訪問 327 電話 897 延 204 延 1,428	327 897 204 1,428	7.2%	19,915	26.6	22.7%
淀川区	336	1.01%	訪問 437 電話 1,007 延 196 延 1,640	437 1,007 196 1,640	4.9%	33,312	24.1	13.6%
東淀川区	417	1.21%	訪問 490 電話 1,208 延 207 延 1,905	490 1,208 207 1,905	5.5%	34,492	27.0	23.6%
東成区	272	1.50%	訪問 244 電話 602 延 129 延 975	244 602 129 975	5.4%	18,153	30.9	46.2%
生野区	427	1.23%	訪問 372 電話 844 延 203 延 1,419	372 844 203 1,419	4.1%	34,735	26.5	36.5%
旭区	335	1.39%	訪問 202 電話 786 延 168 延 1,156	202 786 168 1,156	4.8%	24,091	30.2	36.1%
城東区	491	1.38%	訪問 456 電話 944 延 237 延 1,637	456 944 237 1,637	4.6%	35,603	28.4	25.9%
鶴見区	323	1.55%	訪問 811 電話 1,233 延 192 延 2,236	811 1,233 192 2,236	10.8%	20,779	27.4	38.8%
阿倍野区	318	1.27%	訪問 780 電話 696 延 109 延 1,585	780 696 109 1,585	6.3%	25,050	29.6	25.6%
住之江区	528	1.89%	訪問 278 電話 718 延 207 延 1,203	278 718 207 1,203	4.3%	27,943	25.8	43.2%
住吉区	386	1.07%	訪問 535 電話 1,190 延 86 延 1,811	535 1,190 86 1,811	5.0%	36,023	31.9	26.7%
東住吉区	473	1.42%	訪問 531 電話 1,787 延 233 延 2,551	531 1,787 233 2,551	7.7%	33,335	25.8	25.5%
平野区	264	1.00%	訪問 245 電話 856 延 137 延 1,238	245 856 137 1,238	4.7%	26,290	29.7	37.8%
加美	115	1.33%	訪問 43 電話 60 延 22 延 128	43 60 22 128	1.5%	8,623	18.8	12.7%
長吉	161	1.35%	訪問 42 電話 133 延 14 延 193	42 133 14 193	1.6%	11,950	36.2	36.1%
西成区	297	0.96%	訪問 240 電話 1,537 延 1,388 延 3,165	240 1,537 1,388 3,165	10.2%	31,009	42.4	27.8%
玉出	163	2.13%	訪問 241 電話 288 延 47 延 578	241 288 47 578	7.5%	7,656	29.8	8.7%
合計	8,636	1.49%	訪問 9,569 電話 22,659 延 5,603 延 37,840	9,569 22,659 5,603 37,840	6.5%	580,088	27.8	26.3%

地域包括支援センター上半期実績(会議開催・参加状況 ケアマネジメント関係)

【平成21年度 累計】

	会議開催・参加状況							包括的継続的ケアマネジメント		
	地域ケア会議の開催	総合相談窓口 連絡会議の開催	食事サービス 運営委員会の開催	地域密着型サービス 運営推進会議への 参加	その他NW構築のため の 会議開催・参加	区運営協議会への 出席	合計	介護支援専門員 個別相談件数	居宅介護支援事業者 連絡会の開催・参加	介護支援専門員への 研修会の開催
北 区	7	4	3	3	20	1	38	132	8	3
都 島 区	6	3	6	5	4	1	25	27	5	0
福 島 区	8	13	5	0	12	1	38	38	6	4
此 花 区	9	3	3	3	27	1	46	142	6	1
中 央 区	9	6	6	1	29	1	52	94	6	3
西 区	13	3	2	3	12	1	34	343	6	3
港 区	12	2	7	10	19	1	51	247	11	5
大 正 区	43	3	0	5	5	1	57	219	5	2
天 王 寺 区	22	6	0	3	62	1	94	196	11	4
浪 速 区	8	6	6	2	8	1	31	213	5	0
西 淀 川 区	15	3	6	12	85	1	122	244	18	6
淀 川 区	27	6	3	13	23	1	73	204	6	0
東 淀 川 区	10	6	6	22	30	1	75	328	6	3
東 成 区	17	10	3	5	34	1	70	80	6	0
生 野 区	16	8	6	14	87	1	132	134	5	5
旭 区	6	4	4	3	1	1	19	224	13	3
城 東 区	26	6	5	4	27	1	69	137	12	5
鶴 見 区	16	6	6	8	6	1	43	358	11	4
阿 倍 野 区	24	3	6	9	38	1	81	170	9	3
住 之 江 区	17	5	1	14	25	1	63	141	11	1
住 吉 区	22	7	3	18	29	1	80	215	10	1
東 住 吉 区	24	6	6	16	69	1	121	461	6	13
平 野 区	13	3	6	10	23	1	56	204	6	3
加 美	1	3	6	4	6	1	21	12	6	0
長 吉	4	2	6	13	13	1	39	18	10	1
西 成 区	35	8	3	11	59	1	117	955	8	5
玉 出	17	5	3	10	37	1	73	61	3	1
合 計	427	140	117	221	790	27	1722	5597	215	79

平成21年度 第2回各区地域包括支援センター運営協議会開催結果概要

区	開催日	上半期評価について主な意見・要望
北	12月 3日	特定高齢者ケアプラン作成に向け、ADLの正確な把握や潜在的問題ケースを把握するには、訪問して直接確認する必要があるのではないか 民生委員が行う寝たきり高齢者の調査結果を有効に活用することを考えてはどうか 1プランチに向け、配置基準は満たしているが、留守番電話等を利用せず、他職員の手を借りて折り返し連絡するなどの対応が必要ではないか
都 島	11月 26日	地域包括支援センターという名称がなじみにくいと指摘
福 島	11月 16日	「包括」「プランチ」の名称では、事業の内容に直結せずわかりづらい 広く周知して、包括・プランチを活用してもらうようになればよい
此 花	11月 11日	相談窓口として広報が行き届いているか、区民に対してアンケートをしてはどうか 区内23か所の保険薬局もネットワークとして機能するようパンフレットを置くなど協力したい
中 央	11月 19日	認知症支援に医療・介護・市民の取組み必要で、CoCoネットと発足し、よくやっている 相談窓口として、センターが区民に知られるようになった。これから真価が問われる ケマネジャー事業所特徴一覧表はこれまで見たことがなく、大変役に立つと思う
西	11月 26日	地域包括支援センターの知名度を高めるため、より一層の取組みが必要
港	11月 26日	苦情解決体制の表示について、複数事業を実施している中では表示困難、利用者にとって戸惑いを与えるのではないかと発言がプランチよりあり
大 正	11月 16日	特定高齢者支援は、講演会や食事サービスの参加者だけを対象にしたのでは不十分で プランチ単独訪問は受け入れられないこともあり、配食サービス同行など工夫すればよい ひとり暮らし高齢者への取組みは「費用徴収がなじまない」「広報すれば需要はあるはず」と2つの意見あり
天王寺	11月 25日	当区包括支援センターの活動実績は評価できると意見あり
浪 速	11月 6日	基準を満たした取組みでなくとも、ひとり暮らし高齢者に対する熱心な取組みは評価に反映されるべきだと思う プランチの委託料は加算ばかりだが、減算も考えてはどうか それぞれよくやってくれており、次回は◎となしてほしい
西淀川	11月 11日	要支援・特定高齢者ケアプラン作成は昨年と比較しても増加しているのがわかる ひとり暮らし高齢者への取組みは、契約書を交わし有料で訪問する方法はなじまず、次年度以降も同じ内容ならば軋みが生じるのではないかと 地域住民がボランティアで実施している高齢者訪問に対し、プランチが有料訪問することはできない
淀 川	11月 30日	制度や事業についての具体的質問等あり 特定高齢者へのアプローチはかなりの努力が必要である
東淀川	11月 19日	特になし
東 成	11月 12日	特になし
生 野	11月 26日	特になし
旭	11月 12日	評価基準項目が少ない 今回は最低基準とのことだが、達成目標基準があればよい 課題対応取組みにより相談件数が多いことがわかるので他プランチも取組んでほしい
城 東	11月 25日	包括支援センターとして、各プランチに対してより一層の指導強化を望む
鶴 見	11月 12日	センター・プランチの業務内容について認知度が低く、より一層の周知を図るよう要望あり
阿倍野	11月 25日	特になし
住之江	11月 19日	地域ケア会議の必要性を検討し、もっとスピーディーに開催してほしい ネットワーク構築のための会議の内容について質問・確認あり 1プランチの「兼務業務と混同してどちらの立場で関わっているのかわからなくなる」という報告に対し、兼務の人員配置しかできないのか、体制整備が必要ではないかと意見あり 1プランチに向け、相談件数の計上漏れを含め、今後の業務体制を見直しを要望
住 吉	11月 13日	総合相談件数推移やひとり暮らし高齢者の把握等についての質問・指摘あり
東住吉	11月 25日	活発な活動をしており、今後もより一層の活動を期待する 相談件数がプランチにより差があることを踏まえ、総合相談窓口を紹介していきたい
平 野	11月 16日	包括の規模が異なる中、ケア会議やケアマネ個別相談数など同じ数での評価は適切か
西 成	11月 16日	今後も、区で取組む課題を整理し、できることを取組んでいってもらいたい 全必要基準を満たしたのは4か所で、達成できなかったところは改善に向け取組んでいる 各連絡会を定期的に開催し、総合相談の強化を図っていることは評価できる 地域別ケア会議を数多く開催し、支援を通して地域のネットワークづくりにつながっている

